

## 2018年10月購入図書

No.	図書名	内容	著者名	出版社
1	くたびれない離婚 じっと我慢したまま、もう何年ですか？	離婚問題を知り尽くした現場最前線の弁護士が、調停／裁判、親権、慰謝料、財産分与など、離婚にまつわるさまざまな知識やテクニックを紹介。不幸な結婚生活、抑圧された結婚生活に終止符を打ち、くたびれて、くじけてしまうことなく離婚への道を歩むための指南書。	吉成安友	ワニブックス
2	被災ママ812人が作った子連れ防災手帖	震災の現実。そのとき、どうやってわが子を守ったか。想定外、では済まされない。子どもを守るために本当に必要なこと。ママたちの実体験をもとに、対策をまとめた防災本の決定版。	つながるcom編	KADOKAWA
3	防災かあさん	わたしの家族はわたしが守る！日頃の備え、災害時の行動から避難所生活まで、90問の多様なQ&Aで防災知識を身につける、一家に一冊の防災ハンドブック。イラスト豊富なオールカラーで、楽しく防災を学ぶことができる。	みんなの防災部編	羽鳥書店
4	おひとりさまvs.ひとりの哲学	「おひとりさま」シリーズの社会学者・上野千鶴子さんと、『「ひとり」の哲学』（新潮選書）が評判の宗教学者・山折哲雄さんが、老いの果ての死をじっくり語り合う。さまざまな最期の迎え方の中から何を、どう選ぶのか。男の哲学的理想と女の社会学的現実がぶつかりあう。	山折哲雄、上野千鶴子	朝日新書
5	冬将軍が来た夏	大規模な幼稚園に勤める二十代の女性保育士である「私」のもとに、終活中の祖母と5人の老女と一匹の老犬が突然現れたその時、私はレイプ事件に遭遇した…。台中を舞台に、女性問題、独居老人、同性愛など、現代の台湾社会が抱える問題を捉えつつ、祖母の終活に寄り添いながら過ごし、自己回復していく主人公の姿を描いた、ひと夏の愛と再生の物語。	甘耀明著、白水紀子訳	白水社
6	恋の相手は女の子	初恋は女の子。でも、教科書には「思春期には異性に関心をもつ」って書いてある。同性を好きになるわたしはまちがってる？誰にも悩みを打ち明けられなかった10代から、彼女との「新郎のいない」結婚パーティまで。自身の体験と、当事者のエピソードを交え、「多様性に寛容な社会」への思いを語る。	室井舞花	岩波ジュニア新書
7	ルポ 同性カップルの子どもたち アメリカ「ゲイブーム」を追う	ニューヨークで暮らす著者の長男の親友チャーリーには、二人のパパがいる。この10年間で子どもを育てる米国の同性カップルは倍増し、10万組以上にのぼるとされる。チャーリー一家のような同性親家庭は、米国の都市部を中心に日常の風景となりつつある。同性婚の合法化など性的マイノリティ(LGBT)の権利保障が注目されるなか、本書は、米国で進行中の「家族のかたち革命」の現実を追う。	杉山麻里子	岩波書店
8	北欧に学ぶ小さなフェミニストの本	フェミニストとは、男女がともにいたり、思いやり、仲良く生きていくには、どうしたらいいか考え、行動する人のこと。女の子らしく、男の子らしくってなんだろう？10歳の女の子エッパといっしょに考えてみませんか。男女平等の先進国スウェーデンからのメッセージ。	サッサ・ブーレグレン著 枇谷玲子訳	岩崎書店

9	いじめで死なせない： 子どもの命を救う大人の気づきと言葉	大人が異変に気づき、絶望の淵から救われた子どもたちがいる。激化するいじめの中で生と死をわけたものは何か。日本テレビの報道記者、キャスターとして長く教育問題を取材してきた著者が大人にできることを探る。 微弱なSOSに大人が気づくための「11のきっかけ」。子どもがいじめを告白した時、親にも実践できる「カウンセリングマインド」。いじめは「笑いがとれる」という加害側少年の心理と、その背景に見え隠れする、加害側の親の影響にも斬りこむ。	岸田雪子	新潮社
10	選べなかった命 出生前診断の誤診で生まれた子	その女性は、出生前診断を受けて、「異常なし」と医師から伝えられたが、生まれてきた子はダウン症だった。裁判の過程で見てきたのは、現在の母体保護法では、障害を理由にした中絶は認められていないことだった。ダウン症の子と共に生きる家族、ダウン症でありながら大学に行った女性、家族に委ねられた選別に苦しむ助産師。多くの当事者の声に耳を傾けながら選ぶことの是非を考える。	河合香織	文藝春秋
11	始まりの家	四女一男。宇奈月家の面々は、それぞれ家から独立して生活していた。そんな彼女らを激しく動揺させる出来事が起こる。子を持たない末女が母を代理母にしたいというのだ。禁忌とも思われる依頼が、宇奈月家の暗部を抉るきっかけとなる。	蓮見恭子	講談社
12	無限の玄／風下の朱	死んでは蘇る父に戸惑う男たちを描いた「無限の玄」(第31回三島由紀夫賞受賞作)と、野球に賭ける女子たちの熱く切ない物語「風下の朱」(第159回芥川賞候補作)を併録。 女性を排除する男性だけのファミリーバンドと女子だけの野球部。一見何の関係もない二つのチームは、性別意識にとらわれた権力者に翻弄される点において同質である。家族やチームにひそむパワハラ構造を音楽やスポーツをからめて描いた意欲作。	古谷田奈月	筑摩書房
13	働く女性に送る27通の手紙	会社勤めを経てフリーになったライターと、現在はアメリカ在住、出版社勤務経験のある小説家・小手鞠るいが、自らの経験を赤裸々に綴りながら、「女の人生と仕事」について一年間手紙を交わした。計27通にもなった手紙は、仕事に行き詰った時、漠然とした不安を抱えている時など、きっとあなたを励ましてくれるはず。すべての働く女性に贈る一冊。	小手鞠るい 望月衿子	産業編集センター
14	今日は、子どもが可愛く見える ママのゆるコツ事典	子育てに向かう気持ちが軽くなる。何度も読み直したくなる、ママのモチベーションブック。主に未就学児のお子さんを持つ、いろんなママの気持ちをラクにする小さな小さなゆるコツがぎっしり。一日一度は役に立つ、222のゆるコツを紹介!	渡辺のぞみ	文響社